



大河ドラマ「西郷どん」で脚光！「郷中教育」引き継ぐ追手門学院中学校 現代版・郷中教育『郷活動』による春の小学生イベント

追手門学院創設者は西郷隆盛と同じ郷中教育を受けた高島鞆之助。薩摩藩で実践されていた教育を現代に引き継ぐ追手門学院中学校（大阪府茨木市、校長：原田哲次）は3月25日、在校生が主体となって運営する小学生向けイベントを開催します。

当日は一般の小学生ら100名ほどが参加し、普段より学年をまたいだ班活動に取り組んでいる在校生が先生役を務めイベント運営を行います。

司会や学校の説明『追手門ってどんなところ？』だけでなく、敷地内にある古墳の探検やマグカップの絵付けなど、各種体験プログラムのすべてを在校生が運営し、小学生らは生徒と学びあいながら楽しむことになっています。

薩摩藩からの郷中教育は時代に合わせて形を変え、『郷活動（まるごう）』として中学に引き継がれています。全校生徒を班に分け、クラスや学年の垣根を越えた生徒たちによる活動により、リーダー育成とともに、協調性を持った生徒を育成しています。

また、2019年4月から新校地に場所を移し、シームレス空間による新しい教育をスタートします。アクティブラーニング型の授業や、他者との協働学習、プレゼンテーションなど、従来の受動的な学びから脱却。社会の中で求められる思考力や協調性、コミュニケーション力を育む取り組みをさらに発展して実践していきます。

中学生たちが小学生と学びながらともに成長する様子を、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

追手門学院中学校

おいちゅう
ようこそ 追中へ！
ミニオープンスクール
3/25(日) 開催時間 10:00～12:00
対象 新4～6年生とご家族

体験プログラム
グラウンドゴルフに挑戦
世界に一つの藍染(あいぞめ)

チョコケーキづくり
マグカップに絵を描こう
古墳を探索しよう

当日の内容
学校紹介 + 体験プログラム + 食堂体験

追手門学院中学校HPより

■ イベント概要

- ・ 生徒による『追手門ってどんなところ？』
- ・ 生徒が先生役を務める体験プログラム
 - A: チョコケーキづくり
 - B: マグカップに絵を描こう
 - C: 世界にひとつだけの藍染
 - D: 古墳を探索しよう
 - E: グラウンドゴルフに挑戦

【ポイント】

- 郷中教育の現代版『郷活動』による生徒リーダーによる運営
- コミュニケーション力を高める追手門独自の教育成果
- 他に類をみない新校舎と『追手門・新教育』の説明

日時：2018年3月25日（日）10時～12時
会場：追手門学院中・高等学校（大阪府茨木市西安威 2-1-15）
参加：一般から募集した小学生と保護者（100名程度）
運営：追手門学院中学校1、2年生および教員20～30名の予定

※取材の際はセキュリティの都合上、事前に広報課へ問い合わせください。

この資料の配付先：大阪教育記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 谷ノ内・足立